

【京都大学デザインフォーラム】

ワークショップ デザイン・シリーズ

vol. 5

～ 最前線のワークショップ実践者と対話しよう ～

ワークショップで 問うべき「問い」を デザインしよう!

第5回の登壇者

安齋勇樹 氏

(東京大学大学院 情報学環 特任助教)



2015年4月25日(土) 13時～17時

対象 ワークショップの企画・運営のスキルや心構えを学びたい学生・社会人

趣旨 学び、合意形成、コミュニティ活性化、イノベーション創造などにおいて「ワークショップ」というアプローチが注目されています。本シリーズでは、さまざまな分野の最前線でワークショップを企画・運営するワークショップデザイナーを招き、設計論や心構え、ノウハウを惜しみなく語っていただきます。

ワークショップをデザインすることとは、「適切な問いを立てること」と言い換えてもいいのではないだろうか？ ワークショップデザインや創造性を研究テーマとし、昨年4月には「協創の場のデザイン - ワークショップで企業と地域が変わる」を著した安齋氏は、そう語ります。「そもそも良い問いとは何か？」「問いの良し悪しを評価できるのか？」について、一緒に考えてみませんか？

場所 京都大学デザインイノベーション拠点 (KRP)

申込 <http://wsdesign5.peatix.com>

参加費 無料 (セミナー終了後、懇親会〈実費：1000円〉予定)


DESIGN SCHOOL
KYOTO UNIVERSITY

主催：京都大学デザイン学大学院連携プログラム / デザインイノベーションコンソーシアム
運営：寺田知太 (京都大学デザイン学大学院連携プログラム・非常勤講師)